介護部会相模原ブロック会議報告書

実施日　　　　　平成28年6月24日(金)　　14：00～16：00

会議実施会場　　介護老人保健施設　グリーンヒルズ相模原

参加人数　　　　10施設　　　13名　　参加

議事項目　　　　①自己紹介

　　　　　　　　②ディスカッション　「介護職員の人員確保への取り組み」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　￭ 新規入職者の人員確保・定着に関しての

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　意見交換など

　　　　　　　　③フリートーク・伝達事項

　　　　　　　　④施設見学

内容

「新規入職者の人員確保・定着に関して」各施設からの報告

Ａ施設　最近、残念ながら２名の職員が辞めてしまった。

　　　　今年は、毎年実習を行っている専門学校に声をかけ実習生だった人を

　　　　受け入れ８名が入職した。

Ｂ施設　専門学校を訪問して求人の募集をするも、生徒数が少なくなっていて、学校数

　　　　も減ってきている。ハローワークや求人広告で求人を出したり、高校にも求人

　　　　を出している。また実習生の受け入れを行っており、昨年は実習生だった１名

　　　　と、求人広告を見て専門学校より１名の２名が入職。今年は実習生だった１名

　　　　が入職。現在通所の人数が少なく派遣職員１名を３か月更新している。毎年

　　　　年間で辞める人より入職する人数が少なくなってきて厳しい。

Ｃ施設　専門学校を訪問し求人広告を出したり、情報誌を活用している。

　　　　情報誌の反応は良かった。実習生の受け入れを行っているが、ハローワークから

　　　　専門学校へ入った方が多く年齢が高く入職するまでにはつながらない。

　　　　また、去年の新卒者は東京都からの奨学金を借りている兼ね合いで東京都で就職

　　　　を探す様で、やはり入職されず。ここ５、６年離職率が少なく新人職員は入っていない。現在子育て支援を行っていて、出来るだけ仕事を続けられるように勤務体制の調整をしたり、託児所もある。育休中の職員は現在２名いて、パート職員と派遣職員１名で補い職員数は足りている。

Ｄ施設　昨年、「仕事と両立は出来ない」と辞め、介護福祉士の資格取得の為専門学校へ行った職員１名を今年まで待つも結局戻らなかった。現在、離職者が出れば求人広告を出したり、職員の紹介で人員確保している。

　　　　入浴介助や食事介助のパート職員がいるが、入浴介助の経験を生かし、介護職員

　　　　として夜勤まで行えるようになった職員も２名いる。また、勤続年数の長い職員

　　　　がわりと多い。

Ｅ施設　求人広告や職員の紹介で人員確保している。今年一時期職員が減り、派遣職員を利用したり、まったく未経験者５～６名が入職した。現在ベテラン職員がゆっくり、焦らず教えている。以前は休日も出勤していたが、だいぶ休日出勤が減ってきた。

Ｆ施設　人員確保の為、折込みチラシを入れたり、ハローワークで募集。また、派遣社員

　　　　２名を半年以上継続して利用していて現在はある程度確保できている。以前、高校の実習生だった１名が入職したが初めての高卒者入職だった為、１対１で教えるも仕事が定着するまで難しかった。又、何年か前には専門学校の学生が来たが、なかなか就職が決まらずに最終的に入職した様で、手をかけ教えたが長続きせず１年もしないで辞めてしまった。

Ｇ施設　毎年引っ越しや結婚で２、３名辞めてしまう。その都度、新卒者や中途採用で人員確保はできている。去年は５名の新人職員があった。（新卒者と特養等の他施設より）今年も専門学校の新卒者２名が入職。最近は特養や有料から勤務がきつい等の理由で転職され、来ることも多い。求人は折込みチラシや職員の紹介の他に専門学校とのつながりで実習生受け入れがあり、学校を訪問し紹介してもらう。

新入職員には、その人のペースでマンツーマンで行い、実習生と新入職員を共に

指導している。

Ｈ施設　求人は広告や一般から行う。経験がなくても仕事をしたいという方には、1から

　　　　その人に合わせた指導をする。中に合わなくてすぐ辞めてしまう人もいる。

　　　　派遣職員３名を継続して利用。また、子育て中のパート職員もいる。職員が夜勤平均7回位入る為、日勤者にパート職員が多く、フロアで主になる職員が少なく厳しい。

Ｉ施設　今が一番職員が辞めてしまう。７月で４、５名の職員が辞める。８月の勤務表が

　　　　作れなく、とても厳しい状況である。職員の定着は１０年以上の職員は続いても、

　　　　１年以下の職員は「合わない」と早く辞めてしまう。去年、新卒者が１名入職。

　　　　今年は0。中途で入っても1～2か月で辞めてしまう。求人広告も出すが、その他に施設事務所の職員が近所にチラシをじかに配ったりしている。

Ｊ施設　人員確保は専門学校を訪問して行う。今年は養成校の生徒４、5名　が入職している。職員の確保よりも定着に力を入れている。今年より離職防止委員会を施設で

　　　　立ち上げた。技術的な教え担当者を付けその人の役割を持たせ、個人目標を設定し本人にやりがいを出させていく。又、年に３回個人面談を行う。フロアによって違うが、退職につながる原因は職員間の不和が多い。各フロアでいかに上手に

　　　　やっていくかが重要である。

伝達事項

・リハビリパーク城山　　相模原市老健協会脱退

・今年度の相模原ブロック会議予定

　　　　　　 ９月　　相模大野

　　　　　　１２月　　のどか